

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第2回星が丘公民館改修検討委員会	
事務局 (担当課)	生涯学習部 星が丘公民館 電話042-755-0600(直通)	
開催日時	令和2年8月4日(火) 19時～20時30分	
開催場所	星が丘公民館 1階 大会議室	
出席者	委員	13人
	事務局	2人(館長代理、公民館職員1人)
	その他	市職員3人(生涯学習課3人)
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長あいさつ 2 委嘱状交付 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第1回の意見、質疑応答について (2) 現在の諸室の設置経過について (3) 基礎調査について (4) 他館の視察について (5) 改修に係るアンケートの実施について (6) その他 4 次回以降開催日について 5 閉会 	

検 討 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 委員長あいさつ

開会にあたり、竹田委員長からあいさつをいただいた。

2 委嘱状交付

後藤館長から各委員に委嘱状を交付した。(※第1回改修検討委員会で交付できなかったため。)

3 議題

(1) 第1回の意見、質疑応答について

参考資料により、館長代理が第1回の意見、質疑応答の概要を説明。

(2) 現在の諸室の設置経過について

生涯学習課職員が資料1により和室、保育室、図書室、コミュニティ室の設置経過について、また、資料2により各公民館のコミュニティ室の利用等に関する調査結果について説明した後に、関連する質疑応答を行った。

- 和室については、昭和40年代に「老人いこいの家」という施設をつくり、その後、公民館を建築し始める際に、合築として「団らん室」を設けることになったことが現在の和室の設置経過だったと記憶している。
- 畳の部屋はやはり使いづらいため、靴を脱いで使用するフローリングかクッションフロアにすることでも良いと思う。
- 茶室はどこの公民館にもある部屋なのか。また、当館での利用頻度はどうか。
- 和室という名称で茶室の機能も兼ねている公民館もあるが、単純に「茶室」という名称の部屋が無い旧市の公民館は3館である。
- 当館は茶道のサークルが2団体登録しているが、利用者も高齢化しており、利用は減少している。
- 改修後には茶室を専用室にする必要はないのではないか。
- 清新公民館の改修では、改修前にあった大きな和室はフローリングやクッションフロアの多目的室に、改修前にあった茶室は和室という名称に変更して、和室と茶室の機能を兼ねた部屋とした。そのような検討もすると良いと思う。
- コミュニティ室の利用実態は地域の実状などから館によって違いがある。長く自治会に関わっているが、当地区では、一般利用者に貸し出したことはないはずである。
- 他室の配置との兼ね合いによっては、コミュニティ室を現在の1階から2階に移すことも検討しても良いと思う。また、空いている時間帯は一般利用者に貸し出しすることについても検討して良いと思う。ただし、地域団体の活動に差し支えがないように工夫する必要がある。
- コミュニティ室が2階にある他館を見たい。
- まちづくりセンター等と併設していない当館と同じ単独館で、コミュニティ室が2階にある公民館はない。

- 保育室は当初は、公民館事業に参加する親に代わって、保育ボランティア等が子どもの面倒をみる目的で作られた。当館での保育室利用の現状はどうか。
- 「子ども連れの人のための保育あり」と周知する事業でも、保育の依頼はほぼない。
- 通常は施錠管理している。例えば、授乳のために保育室を使いたい人など、職員に声がかかれば開錠して貸し出すこともあるが、そもそも保育室の存在があまり知られていないので、利用されることは少ない。
- 保育室の使い方については、各公民館の運営協議会で議論している。今後、より使い勝手が良くなるように検討すれば良い。
- 保育室も含め、各室の使い方について、この委員会で意見を出しあいたい。

- 図書室は当初は無くしてもよいと思っていたが、利用者も多いようなので、子どもたちの使い勝手がよく、更に利用しやすくなるような検討をしていきたい。

(3) 基礎調査について

生涯学習課職員が口頭により基礎調査について説明した後、質疑応答を行った。

- 長寿命化改修工事では、現状の安全性を損なわず、それを保ちながら改修することを前提としている。それを踏まえて基礎調査では、現状の躯体の不具合を確認することが主な目的となっている。
- 当委員会での改修検討の段階で、予め「この壁は抜くことができる」「ここは抜くことはできない」などと分かっているならば、議論しやすいのだが、どうか。
- 壁、柱などはそのまま維持するのが基本である。しかし、委員から、構造上難しいと思われる提案があった場合は、その実現性について調査を行う。なお、当委員会には公共建築課の職員も出席し、案が出た際に、専門的な立場から助言を行い、検討した内容が無駄にならないような進め方を考えている。

(4) 他館の視察について

清新・小山の両公民館を視察することとなった。清新は8月25日(火)、小山は8月26日(水)、いずれも正午から1時間程度。参加希望者は現地集合。当日は、公共建築課職員も同席する。

(5) 改修に係るアンケートの実施について

館長代理から実施案を説明した後に、意見を出しあった。また、8月10日(日)午前10時から、有志の委員3人と館長代理、公民館職員により、改めて検討することとなった。

- 問いをシンプルにして、幅広い年齢、立場の人から意見をもらいたい。最初から結論ありきの形だけのアンケートでなく、真に様々な意見を求めているのだということが伝わるようにしたい。
- 「公民館を利用したことがあるか」との問いには「ない」という選択肢を、星が丘公民館管区に住んでいるか」との問いには「それ以外に住んでいる」との選択肢を明示するなど、該当する人に「当事者ではない」と感じさせない工夫が必要。また、「星が丘公民館区」とはどの地域を指すのかも記載したほうが良い。
- アンケート用紙は、公民館ホームページからダウンロードできると良い。
- 公民館ツイッターを立ち上げるとのことだが、回答機能を使うと、若い年齢層の人も意見を出しやすいのではないか。

(6) その他

改修についてのその他の意見、質疑応答等は以下のとおり。

- 改修にあたって「ほとんどの壁は抜けない」ということでは、劇的な変化は難しく、できることは限られている。
- 現在の躯体を活かした改修であるため制約はあるが、この検討委員会で協議して工夫すれば良い。
- 壁紙を変えるだけでも明るい雰囲気になり、イメージアップに繋がる。
- 現在の正面玄関のガラスばりは、外から中の様子が見えるので、入館しやすくして良い。
- 正面玄関のガラスばりのうち、天井近くの高い部分は眩しいし、館内の温度が高くなる。ロールカーテンなどで遮光したい。

- 施設改修に伴って、椅子や机などは新調できるのか。
- より移動しやすい軽量の机や椅子など、今は良い製品があるので、すべてではないが新調する予定である。

- こどもセンターを利用する小学生、中高生にも公民館に関心のある人は多い。子どもたちにも「どんな公民館の施設だったら利用してみたいか」と意見を聞いてもらいたい。
- ぜひ子どもや保護者たちにも意見を伺いたい。アンケート実施への協力について、別途、調整させていただきたい。

- 改修後の施設として、新型コロナウイルスへの配慮はしなくても良いのか。
- 工事実施予定の令和5年度にコロナがどうなっているかわからないが、細部については、今後、その状況にあわせて考えていけば良い。
- 改修後の施設では、手をかざせば水が出る洗面台や、自動で水が流れるトイレなどの設置を検討することで、「With コロナ」の時代に対応することにはなるだろう。そのような新機能を見る意味でも、他館の視察にはぜひ参加していただきたい。

4 次回以降開催日について

今後、「原則として毎月第1火曜日、祝日の場合は第2火曜日に開催する」こととなった。第3回は9月1日(火)、第4回は10月6日(火)、第5回は11月10日(火)に開催予定。

5 閉会

以上